

研究課題名	脳小血管病における脳卒中転帰に関連する影響
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文
研究期間	実施許可日 ～ 2031年3月31日
対象者	2017年7月から2027年3月の間に、広島大学病院脳神経内科で急性期脳卒中による治療を受けられた患者さん。
意義・目的	<p>大脳白質病変や脳微小出血は急性期脳卒中の予後不良因子ということが明らかになっていますが、脳卒中の予後不良因子にはそのほかにも様々な影響が考えられています。今回、急性期脳卒中患者で入院中に評価した脳小血管病の状態、血液検査データ、生理学的データ、神経学的所見、身体的検査所見等様々な角度から検討し、脳小血管病の状態と退院後の予後との関連を検討することで有用な予後予測因子を明らかにするため、この研究を計画しました。</p>
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は年齢、性別、身長、体重、現病歴、既往歴、悪性腫瘍合併の有無、生活歴、脳卒中重症度、脳卒中病型、処方内容、血液検査所見、生理学的検査所見、頭部放射線画像所見、口腔内環境（歯の状態）です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）</p> <p>脳卒中退院時の神経学的所見や3か月後のADLの状態、当院に継続通院している患者さんは脳卒中発症後3年まで脳卒中再発や心血管イベントの有無、高次脳機能の状態など診療録から調査します。</p>
共同研究機関	なし
外部への試料・情報の提供	ありません
利用または提供を開始する予定日	<p>本学における実施許可日：2022年7月7日以降</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。なお、本研究で得られたデータは貴重な資料として、個人が特定できないよう加工した上で研究期間終了後も保管させていただきます。そのデータを将来新たに計画・実施される研究に使用させていただく場合があり、その際には改めて倫理審査委員会で審査を受け承認後、研究機関の長の許可を得た上で使用いたします。</p> <p>将来の研究に使用した場合は、その研究に関する情報を現在ご覧いただいているHP（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開）</p> <p><a href="https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx">https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx</a> にて開示し、データ使用</p>

の拒否権を行使できるようにします。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5201

広島大学病院脳神経内科 講師 祢津 智久